

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2012	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
細胞生物学領域におけるリーディング ジャーナルを目指して		一般社団法人 日本細胞生物学会	会長・大野 博司
学術刊行物の名称			(略称)
Cell Structure and Function			C S F

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>平成28年度のゴールドオープンアクセス化の実施にも拘わらずインパクトファクターが非オープンアクセスの類似の雑誌よりも低い点を解消することを目標とした取組である。そのために、(1) 国際会議での広報活動、(2) 英文HPの刷新、(3) 世界の一流の研究者を編集委員会メンバーに加えた編集体制、(4) 国内学会の発表言語の英語化、などの大きな改革を行っている。問題点の分析と取組が具体的かつ的確であるため、その結果、インパクトファクターが平成28年度の1.9から平成30年度の3.5へと急上昇し、当初計画を上回る成果を上げている。本事業の最終年度までには当初の目標を大きく上回る成果を期待したい。</p>	